

事例8

< 事例概要 >

出血

- ① 60 歳代、TAFRO症候群、両側胸水の患者。
- ② 末梢血管確保困難のため、中心静脈カテーテルを留置予定。
- ③ BMI 30.3 kg/m²。血小板 4 万台/ μ ℓ。抗血栓薬の使用は無。頸部の浮腫と緊満が強く、超音波でも動脈と静脈の判別困難。
- ④ 右内頸静脈より作図法で穿刺。カテーテル留置後X線とカテーテルの採血で右内頸動脈内の誤留置と判断し抜去。頸部の血腫あり用手圧迫し、超音波で血腫の増大がないことを確認しテープ圧迫に変更。抜去から約8 時間後、呼吸困難感を訴え心肺停止。咽頭浮腫が著明。心肺蘇生を行ったが、その2 日後に死亡。
- ⑤ 死因は、右内頸動脈誤留置抜去後の出血、血腫による気道内浮腫に伴う窒息（疑い）。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。